



# いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

＜学校教育目標＞ 児童数400名

〔強 く〕 自信をもち、心身ともに鍛える子

〔正しく〕 深く考え、進んで学ぶ子

〔美しく〕 明るく、思いやりのある子

## 想像力を身につけよう

校長 藤村 郁夫

時折の氷雨が肌寒く、秋の深まりを感じる頃となりました。校舎からは、音楽会に向けて練習する歌声や楽器の音色が聞こえてきます。

10月19日（水）に行われた陸上競技大会では、6年生が見事な活躍をしてくれました。約1か月の練習の中で、めあてを持って取り組み、全員がその成果を十分に発揮してくれました。また、競技中だけでなく、学校ごとに割り振られたメインスタンド中央からの観戦・応援している時の態度もしっかりしていて、素晴しかったです。学校へ帰着後、自分との戦いに勝てたかと聞くと、多くの子どもたちから手が上がり、お互いの健闘を称えあうことができました。ある児童は、「おかげさまで、自己新ができました。ありがとうございました。」と言ってくれました。子どもたちが大きく成長した瞬間でした。自分が頑張れたことの喜びや感謝、自分をさらに伸ばしたいという力強さに感動しました。今年も新型コロナ禍の中で、開催が危ぶまれましたが、市内小学校の多くの先生方のご尽力と健康面でご留意いただいている保護者の皆様のご努力により開催することができて本当に良かったと思います。

さて、先日の全校朝会で、私は「想像力を身につけよう」という話をしました。

「昔々、あるところに、次は？」と聞いてみました。すると「おじいさんとおばあさんがいました。」とすぐに答えてくれました。そこで「おじいさんは、川へ洗濯に」と続けると、低学年の子どもたちからゲラゲラと笑い始めました。「頭の中で宝島の絵を描いてみよう。」と言うと、朝の静けさの中で子どもたちが頭の中のイメージをどんどん膨らませていました。船長となって船から見た絵や空から見た絵、実に様々な絵がでてきたことでしょう。豊かな想像力、これは新しいものを生み出す創造力へつながっていきます。それは子どもの頃に芽生えて、ぐんぐん大きく育っていきます。これは、作家であろうと、画家であろうと、どのような仕事の人にとっても、大変重要です。

では、想像力や創造力を人はどう身につけていくか、というと、それは小学生までの内に無邪気な想像をたくさんさせてやることではないかと思います。最近の子どもたちの学びは、大きく変わってきました。1人1台の情報端末（PCなど）を用意しての「主体的・対話的で深い学び」、ICTの活用等による「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」への教育が着々と進んでいます。豊かな想像力の育成にどうつないでいくかが大切だと考えているところです。

これからの時代の中で、子どもたちが世の中に適応しながら自立し、豊かな人生を切り拓き、地域や社会の発展に貢献する人間に育ってほしいと思います。子どもたちには、ぜひ豊かな想像力を発揮して、新たな価値観を見だし新しい社会を創造してくれることを期待しています。

11月1日は、『彩の国教育の日』です。

「教育は、家庭の教えて芽を出し、学校の教えて花が咲き、社会の教えて実を結ぶ」と言われます。

引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い致します。



**11月1日は、彩の国教育の日**  
身近な人と「自然・人・本・家族・地域」の  
大切さや思い出を語り合ってみませんか？